

大社初戦快勝

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
大社	2	0	0	0	0	0	1	0	0	3
報徳学園	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1



発行所
山陰中央新報社

松江市殿町383
郵便番号 690-8668
電話 総合案内 0852(32)3440



夏の甲子園 63年ぶり



報徳学園に勝利し、応援席へ駆け出す大社ナイン＝兵庫県西宮市、甲子園

選抜準Vの報徳学園(兵庫)下す

第106回全国高校野球選手権大会は11日、兵庫県西宮市の甲子園球場で1回戦があり、32年ぶり9度目の出場となる大社が、春の選抜大会準優勝の報徳学園(兵庫)を3―1で破り、63年ぶりに夏の甲子園で勝利した。島根県勢の初戦突破は2022年の浜田以来2年ぶり。

大社は初回、内野安打で出塁した2番藤江龍之介が二盗し、四球などで得た2死一、三塁の好機で、5番下条心之介が左前適時打を放ち、敵失も絡んで2点を先制した。七回には8番園山純正の左前適時打で追加点を挙げた。

投げてはエース馬庭優太が気迫の投球で完投。丁寧なコースを突く直球と変化球を織り交ぜ、報徳学園打線を相手に被安打7、1失点の好投で逃げ切った。

大社が夏の甲子園で勝利したのは1961年、第43回大会で札幌商(南北海道)を9―1で下して以来となる。

山陰中央新報の購読お申し込みは
0120-49-2550
受付時間 9:30～17:30(日曜、祝日除く)